

# 館長だより

山形県産業科学館

平成28年3月13日 第56号

発行 館長 大津 清

## 「科学マジックショー」を開催しました

去る平成28年3月5日(土)に山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、館のボランティア「たんけん科学ランド相談員」の石山泰規先生、鈴木景子先生、奥山章一先生、テクノボランティア4名により「科学マジックショー～マジックを体験しよう!～」が行われました。時間は14:00～14:40に行われ、参加者は見学者を含めて、136名でした。

スプーン曲げやカードマジックなど歓声上がり、大変面白かった。大好評のうちに終了しました。

講師の先生方、参加いただきました皆さんありがとうございました。

●『舗道』 山形新聞3月6日付



## 「ロボット」に関するイベントを開催しました

◆「ロボットで対戦しよう!」

去る平成28年1月24日(日)に山形県産業科学館2階フリースペースで、山形工業高校電子システム科の先生方と高校生9名により「ロボットで対戦しよう!」が開催されました。ロボットを操作しての対戦ゲームや空中を飛びまわるマルチコプター、コースを走るマイコンカーの実演を行いました。子どもたちは真剣に体験し楽しみました。

●『ロボット操作楽しい』 山形新聞1月26日付

◆第4回「ロボットとあそぼう!」

去る平成28年2月14日(日)午後1時から2時30分まで山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、テクノボランティア6名の高校生(山形工業高校5名、寒河江工業高校1名)により第4回「ロボットとあそぼう!」を開催しました。

犬型ロボット「アイボ」、猫型ロボット「ニャーミー」、自立2輪走行ロボット「ミップ」、空飛ぶ人形「フェラリー」、そして、新たにコミュニケーションロボット「ロビジュニア」を設置しました。楽しくロボットと触れ合いました。

これからは、ロボットが工場の中だけでなく、私たちの身近な社会生活の中で身近に感じられるものになると思います。

高校生の皆さん、ご参加いただきました皆さんありがとうございました。



## 新アイテム『山形城の石垣をつくろう!』が設置されました

平成28年3月1日(火)より山形県産業科学館4階に、新アイテム『山形城の石垣をつくろう!』が設置されて、供用開始となりました。装置は山形城の石垣をモチーフに、①石を川から引き上げる(輪軸)②石を運ぶ(コロ)③石を持ち上げる(てこ)作業を体験できるものです。ぜひ、先人の知恵と創意工夫した「力」の科学原理の装置に触れて実感してください。



●『石垣 こう造ったのか!』 山形新聞2月27日付

●『注目の体験装置「山形城の石垣をつくろう!」』 YBC news every3月4日放映

・有機体に必要な西洋の精神的な大気も、自然の探求、世界のなぞの究明を目指して幾多の傑出した人々が数千年にわたって努力した結果である。

エルヴィン・フォン・ベルツ著「ベルツの日記」より

エルヴィン・フォン・ベルツ(1849-191)はドイツの医師で東京医学校(現東京医学部)教師に迎えられ、日本の伝染病・寄生虫病を研究し、その予防に貢献した。